

『ショパン・コンクール見聞録』(集英社新書)刊行記念 青柳いづみこレクチャー・コンサート ～伊藤順一を迎えて～

2023 1/14 (sat)


日本人のW入賞、動画配信などで世界の注目を集めた第18回ショパン・コンクール。現地で取材した青柳いづみこが、エーゲルディングル『弟子から見たショパン』(音楽之友社)をふまえ、2018年のピリオド楽器のためのショパン・コンクールと比較しつつ、多様化するショパン演奏の在り方について考察する。

演奏は、第47回日本ショパン協会賞受賞、第18回ショパン・コンクールでも本大会出場を果たした伊藤順一。

2023年1月14日(土)
開演 14時00分 開場 13時30分

■チケット 全席自由
・一般 3000円
・ベヒシュタインサロン会員 2700円
・学生 2500円

※当日券は右記プラス500円 全て税込




©Miho KAKUTA

伊藤 順一

4歳よりピアノを始め東京藝術大学附属高校、同大学にて奏はるひ氏に師事し、在学中2011年に渡仏しパリ・エコールノルマル音楽院へ留学。アンリ・バルダ氏のもとコンサートディプロムをピアノ、室内楽共に首席で修了。その後パリ国立音楽院、リオン国立音楽院でエルベ・エヌカウア、ティエリー・ロシュバック両氏に師事し研鑽を積み、フランス、イタリア、クロアチアなどヨーロッパ各地の国際コンクールに入賞し、各オーケストラと共演。2019年第4回日本ショパンコンクール第1位。2020年度第47回日本ショパン協会賞受賞。2021年第18回ショパン国際ピアノコンクール本大会出場。同年12月、アールアンフィニよりデビューアルバム『プロフォンド』をリリースし、『レコード芸術』特選盤に選出。また以前よりコンサートを定期的に主宰し、多くのアーティストの共演者としても活躍。現在、神戸女学院大学講師。(一財)カンセイ・ド・アシヤ文化財団 第1期オフィシャルサポートアーティスト。



Program

伊藤順一演奏プログラム

ショパン

練習曲作品10-10
ノクターン作品62-1
ワルツ作品42
マズルカ作品17

ほか

『ショパン・コンクール見聞録』

青柳いづみこ ピアニスト・文筆家

安川加壽子、ビエール・バルビゼの両氏に師事。フランス国立マルセイユ音楽院首席卒業。東京藝術大学大学院博士課程修了。学術博士。演奏と文筆を両立させ、これまでに33冊の著作、21枚のCDをリリース。そのうち18点が『レコード芸術』特選盤となるほか、文化庁芸術祭賞、吉田秀和賞、講談社エッセイ賞など受賞多数。

2018年、ドビュッシー没後100年を記念してベヒシュタイン1925年製E型による『ドビュッシーの夢』(ALM)をリリース、好評を得る。

2021年には同一テーマで『花を聴く 花を読む』(月曜社)と『花のアルバム』(ALM)を刊行。最新刊は『ヴィンテージ・ピアニストの魅力』(アルテスパブリッシング)、『ショパン・コンクール見聞録』(集英社新書)に『昔の歌』(ALM)。

『ラ・フォルジュルネ音楽祭』『東京・春・音楽祭』、NHK-Eテレ『クラシックTV』などにも出演。

日本演奏連盟・日本ショパン協会理事。大阪音楽大学名誉教授、兵庫県養父市芸術監督。



<会場・お申込み>

ベヒシュタイン・セントラム 東京ザール

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目5-1 日比谷マリビル B1

TEL : 03-6811-2935

水曜定休

centrumtokyo@bechstein.co.jp

■東京メトロ日比谷線 日比谷 A9出口 直結
■JR山手線 有楽町駅 日比谷口 徒歩5分

